

科目名	建築計画 1						年度	2024	
英語科目名	Architectural Planning 1						学期	前期	
学科・学年	建築学科 1 年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	三矢 雅人		教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築設計			
【科目の目的】 ・建築計画の役割、人体寸法に即した単位空間の計画、独立住宅の計画事例について理解する。 ・空間の快適性を保証するための環境工学について理解する。									
【科目の概要】 建築計画を通して、住居施設を計画する上での基礎知識を習得することで、設計課題や実務を行う時の土台として役立てる。 また、建築に重要な要素となる環境工学（視覚や寒暑感覚や聴覚）の基礎知識を学ぶ。									
【到達目標】 A：建築計画に興味を持ち、努力して取り組んでいる。 B：戸建て住宅を計画する上で基礎的なポイントを理解している。 C：集合住宅を計画する上で基礎的なポイントを理解している。 D：製図に応用できるように、人体寸法に即した単位空間を理解している。 E：環境工学の基礎知識を理解している。									
【授業の注意点】 授業に出席した上で「配布プリント」に必要な事項を記入しながら受講することが重要（最終評価の対象） 教科書や配布プリント、必要な道具を揃えて受講すること 特に、授業内容によっては必要になる道具があるので、教員の指示にしたがって用意すること （コンベックス/三角スケール/三角定規など）									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	興味を持って積極的に 取り組んでいる	興味を持って 取り組んでいる	指示されたことは 行っている	指示されたことが あまり出来ていない	指示されたことが 行われていない				
到達目標 B	住宅のポイントを 応用できるくらい よく理解している	住宅のポイントを 理解している	住宅のポイントを 知っている	住宅のポイントを 部分的に知っている	住宅のポイントを 知らない				
到達目標 C	集住のポイントを 応用できるくらい よく理解している	集住のポイントを 理解している	集住のポイントを 知っている	集住のポイントを 部分的に知っている	集住のポイントを 知らない				
到達目標 D	単位空間のポイント を正しく利用でき、 発展することも可能	単位空間のポイント を正しく利用できる	単位空間のポイント を学んでいる	単位空間のポイント を正しく利用できない ことが多い	単位空間のポイント を知らない				
到達目標 E	環境工学のポイント を活用できるくらい よく理解している	環境工学のポイント を理解している	環境工学のポイント を知っている	環境工学のポイント は部分的に知っている	環境工学のポイント を知らない				
【教科書】 初学者の建築講座『建築系計画』/市ヶ谷出版社									
【参考資料】 配布プリント、コンパクト設計資料集成									
【成績の評価方法・評価基準】 「期末試験」と「授業点（授業中に配布プリントを記入した状況）」の平均点を基準に総合的に評価する。 ・期末試験：科目の理解度を評価 ・授業点：科目に対する意欲や努力などを評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築計画 1			年度	204
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	設計と建築計画	1 授業の進め方	授業の進め方について理解している	2	
			2 建築計画の概要	建築計画の概要を理解している		
			3 実務の紹介	建築の実務の種類と内容の基礎知識を把握する		
2	居住施設の計画①	建設のプロセス	1 住宅建設プロセス	今後の授業に活用するための建設プロセスを把握する	2	
3	居住施設の計画②	明治・大正期の住宅	1 住宅形成の歴史	このテーマについて理解している	2	
			2 食寝分離・就寝分離	このテーマについて理解している		
4	居住施設の計画③	昭和の戸建て住宅	1 平面計画のパターン	このテーマについて理解している	2	
			2 住宅設計のセオリー	このテーマについて理解している		
5	居住施設の計画④	低層の集合住宅	1 集合住宅のキーワード	このテーマについて理解している	2	
			2 低層集合住宅のタイプ	このテーマについて理解している		
6	居住施設の計画⑤	中高層の集合住宅	1 中高層集合住宅のタイプ	このテーマについて理解している	2	
7	居住施設の計画⑥	都市計画の理論	1 都市計画の概要	このテーマについて理解している	2	
8	居住施設の計画⑦	人体寸法と空間 (1)	1 自分の身体寸法	このテーマについて理解している	2	
			2 身近な寸法を測る	このテーマについて理解している		
9	居住施設の計画⑧	人体寸法と空間 (2)	1 モノの適切な寸法	このテーマについて理解している	2	
			2 空間の適切なサイズ	このテーマについて理解している		
10	居住施設の計画⑨	人体寸法と空間 (3)	1 トイレブース	このテーマについて理解している	2	
			2 トイレの計画	このテーマについて理解している		
11	居住施設の計画⑩	人体寸法と空間 (移動空間)	1 階段	このテーマについて理解している	2	
			2 スロープの斜路	このテーマについて理解している		
12	自然現象, 建築, 知覚の 計画①	視覚と建築	1 光の単位	このテーマについて理解している	2	
			2 日照	このテーマについて理解している		
			3 色彩の理論	このテーマについて理解している		
13	自然現象, 建築, 知覚の 計画②	寒暑感覚と建築	1 寒暑感覚	このテーマについて理解している	2	
			2 日射や断熱	このテーマについて理解している		
			3 換気	このテーマについて理解している		
14	自然現象, 建築, 知覚の 計画③	聴覚と建築	1 音の単位	このテーマについて理解している	2	
			2 残響	このテーマについて理解している		
			3 吸音・遮音	このテーマについて理解している		
15	確認テスト (期末試験)	建築計画の知識をどれくらい 理解しているか?	1 居住施設の計画の知識	居住施設の計画の基礎知識が身についている	1	
			2 環境工学の知識	環境工学の基礎知識が身についている		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等